



大切ないのちをまもるため地域とともに  
安全・安心の医療・介護を創り出そう

## 第35回 愛知医療研究集会

とき 2017年5月28日(日)  
10時(9時半～受付)～16時30分

会場 愛知労働会館東館ホール  
名古屋市熱田区沢下町9-3  
(金山駅から徒歩10分)

保育あり

参加費 500円(資料代)  
※どなたでも参加できます  
※お弁当(お茶つき)1000円

記念講演 10時10分～

分科会 13時半～16時半

## 憲法という希望

～誇りをもって働き続けるために～

さまざまな法律がある中、  
憲法は国家の失敗を防ぐための  
法律だ。社会に息苦しさが  
蔓延しているとすれば、それは  
国家が何かしらの失敗をして  
いるということであり、その  
解決の道筋は憲法に示されて  
いる可能性が高い。今こそ  
憲法に託された先人たちの知  
恵に学ぶべきだろう(憲法という希望/講談社現代新書)



記念講演は「気鋭の憲法学者」木村草太さんです。人権の  
担い手である、医療・介護労働者として、憲法に込められた  
力を学び、私たちの役割を再認識できる機会にしていきます。

首都大学東京都市教養学部法学系 教授

講師 木村 草太 氏

主催／第35回愛知医療研究集会実行委員会

お申し込み／愛知県医療介護福祉労働組合連合会 TEL(052)883-6955 FAX(052)883-6956  
Email/irouren@rouren.net HP/http://www.aichi-irouren.jp/

### 第① 安全な食事介助の実践に向けて

病院や介護施設で日常的に行われている食事介助は、日々の忙しい業務のなか流れ作業になりがちです。しかし、適切な食事介助は疾患の治癒促進、健康回復に必要な不可欠で知識と技術が求められます。STを講師に迎え、安全・安心な食事介助を実践していくため、多職種での交流会とします。

### 第② 子どもの発達にどう向き合うか

院内保育所は医療・介護労働者の子育て施設です。子ども一人ひとりの発達や成長を考慮した保育目標を設定し、質の良い保育が提供できるよう、子どもの目線を重視した保育方法や保育環境の取り組みについて学習するとともに交流を深めます。

### 第③ 医療・介護制度改革でどうなる？

地域包括ケアシステム、地域医療構想、地域共生社会…。もっともらしいネーミングですが医療・介護制度改革は、医療や介護が必要な方を「川下」へ押し流すものです。医療・介護制度改革を学び、患者さん・利用者を守る取り組みを交流します。

### 第④ 働き方の改善を共に考えよう

厚生労働省は1月20日、労働時間の適正化に関するガイドラインを発表。電通の過労死事件をきっかけに、使用者による労働時間の適正把握が求められています。医療・介護の職場から過労死を出さないため、不払い残業・長時間夜勤・待機の改善など、働き方改善に向けた取り組みを学習し交流を深めます。

### 第⑤ 障がいを抱え地域で暮らすために

障がい者の方々が地域や施設で安心して過ごすために、地域連携や障害福祉サービス支援の在り方や、虐待防止法、差別防止法に基づく人権擁護がどうあるべきか考える分科会です。障がいのある当事者の皆さんの参加も広く呼びかけます。

### 第⑥ 安全・安心の給食に向けて

治療食、介護食、嚥下食など日々給食の改善のため努力を続けています。またアレルギー食やNST活動等の重責を担っています。STを講師に迎え、日常の工夫や改善点など、それぞれの経験をレポート報告し学習・交流を深めます。

## 参加申込み

FAX・メールで申し込み下さい。  
申込み〆切：2017年5月22日(月)

**FAX 052-883-6956**

**メール irouren@roren.net**



<b>参加者名</b>	氏名 ( ) 組合又は事業所名 ( ) 電話 ( ) メールアドレス ( )
<b>記念講演</b>	①参加する ②参加しない
<b>分科会</b>	①食事介助 ②院内保育 ③医療介護制度 ④働き方 ⑤障がい ⑥病院給食
<b>職種</b>	①医師 ②薬剤師 ③看護師 ④看護助手 ⑤保育士 ⑥介護職 ⑦事務職 ⑧技術(リハ・検査・XP・栄養士・調理師・SW) ⑨その他 ( )
<b>お弁当/保育</b>	お弁当 ①必要 ②不要 / 保育 ①必要(男・女 才) ②不要